

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第 1796 号	氏名	Archawin Rojanawiwat
論文審査担当者		主査教授	森内 浩幸
		副査教授	溝田 勉
		副査教授	平山 謙二
		副査教授	池田 正行
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、タイ国北部の HIV コホートにおいて、HIV 感染者からの曝露にも関わらず未感染状態を維持している配偶者を解析し夫婦間 HIV 伝播の危険因子を同定しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>病院受診者とその配偶者からなる HIV コホートにおいて、対象夫婦の断面的調査と前向き追跡調査の両方のアプローチで、性行動を含む行動因子、ウイルス因子（HIV コピー数）、宿主因子（CD4 細胞数など）が夫婦間伝播に及ぼす影響を検討し統計学的検討を行なったもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>断片的調査の結果、抗 HIV 抗体陰性配偶者を持つ患者は、持たない患者と比べて年齢、感染経路、治療歴、性交渉頻度、性行為感染既往歴、CD4 細胞数、HIV コピー数のいずれにも有意差を認めなかった。追跡調査では、4 名の抗 HIV 陰性配偶者が抗体陽転したが、HIV 伝播の危険因子として統計学的に有意であったのは既婚年数の長さのみであった。これらの結果は HIV 感染の伝播防止に有用な情報であり、また HIV 感染の病態生理の理解を深めるために寄与するものでもある。</p>			
<p>以上のように本論文は HIV 研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			